

科目	SSP基礎・情報	学年	1年 2年 3年	教科書名	最新情報の科学（実教出版）
教科	SSP基礎	類型	共通 文型 文理型 理数型	副教材等	なし
単位数	1	履修規定	必修 選択	備考	
科目の概要	新学習指導要領の内容も見据えながら、情報活用能力を育成する。具体的には「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」の3つの観点を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱に沿って整理する。				
科目の目標	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割を理解させ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。				

年 間 の 学 習 項 目

学期	単 元	学期	単 元
1	○オリエンテーション 1時間 ・PCルームの使用説明と校内LANの使用について ・タッチタイピングの登録と練習方法について ○探究活動 ・Word・Excel・Powerpointの使用法 9時間 Wordによる文書作成 1時間 Excelに関数を設定する 5時間 Powerpointで自己紹介スライドをつくる 2時間 自己紹介スライドの相互評価 1時間 ・著作権・情報モラル・情報セキュリティについて 3時間 著作権について 2時間 情報モラル・情報セキュリティについて 1時間	3	○探究活動 ・コンピュータの仕組み 3時間 デジタルとアナログ 1時間 コンピュータと2進数 1時間 論理回路について 1時間 ○探究活動 ・表計算ソフトによるデータ分析 8時間 データの整理 2時間 データの分析 2時間 Excelによる散布図 2時間 Excelによるデータの相関 2時間
2	○課題研究 15時間 ・コンピュータによる問題解決 モデル化とシミュレーション 3時間 モンテカルロ法の検証 2時間 アルゴリズム 2時間 プログラムの基本構造 5時間 簡単な自作プログラム作成 3時間		

この科目の評価は次の観点・方法で行う。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・コンピュータにおける情報のあらわし方や処理の仕組みに関心をもち、問題解決においてコンピュータを効果的に活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。	・問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための方法を工夫したり、結果をふまえて改善したりするとともに、情報技術が社会におよぼす影響をふまえた適切な判断をする。	・問題解決においてコンピュータを活用するための技能を身に付けるとともに、情報技術が社会におよぼす影響を理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用する。	・コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みを理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を身に付けるとともに、情報技術が社会におよぼす影響を理解している。
・作品や課題の提出 ・日常の学習意欲や学習態度	・授業態度の観察 ・作品や課題の提出 ・考査	・授業態度の観察 ・作品や課題の提出	・考査 ・作品や課題の提出

学習のポイント／アドバイス等

積極的にコンピュータ実習に取り組むこと。プログラム作成や課題解決には決まった方法だけでなく、いろいろな方法があることを理解する。資料検索等の際にはインターネットを用いてもよいが、出所の真偽を確かめ、明らかにすること。